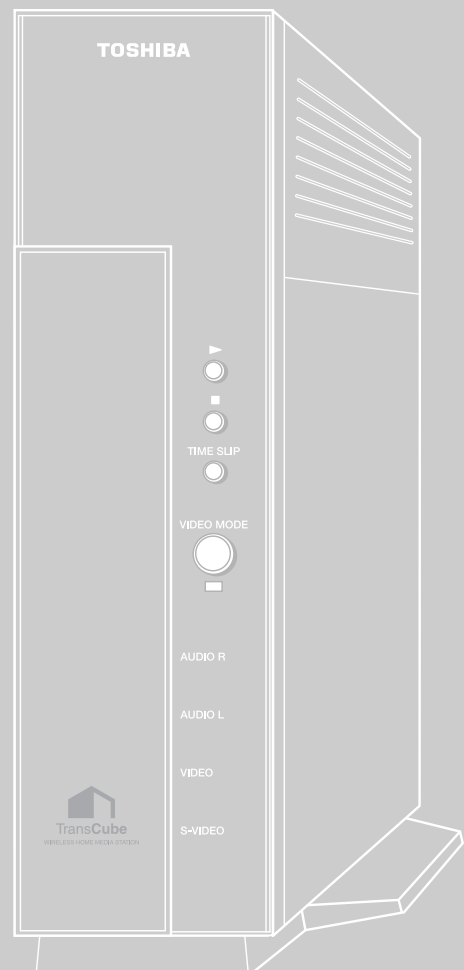


設定メニュー

設定メニューの開き方.....	132
映像設定.....	133
画質設定.....	134
OSD 設定	135
通信速度設定	136
チャンネル設定	137



設定メニューの開き方

LIVE MEDIA TVの[設定メニュー] ボタンをクリックします。



▶ 「設定画面」ダイアログボックスが開きます。

▶ 「映像設定」「音声選択」「OSD設定」「通信速度」「CH微調整」の各タブをクリックすると、設定できる内容が切り替わります。

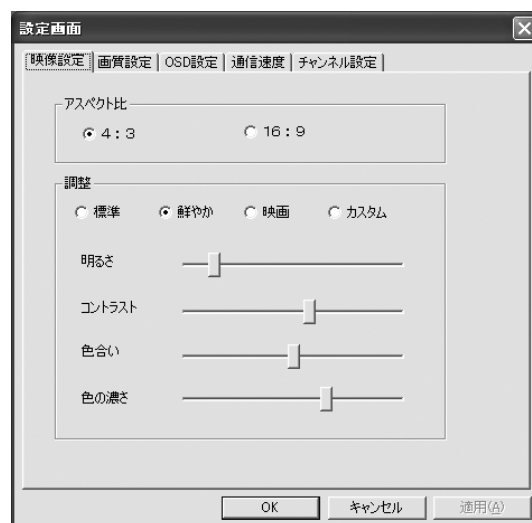
▶ 設定を終了したときは、次のいずれかのボタンをクリックしてください。

[OK] ボタン : 設定を有効にし、設定画面を閉じます。

[キャンセル] ボタン : 設定を無効にし、設定画面を閉じます。

▶ 設定の途中で設定内容を有効にしたいときは、次のボタンをクリックしてください。

[適用] ボタン : 設定を有効にします。クリック後も設定を続けることができます。

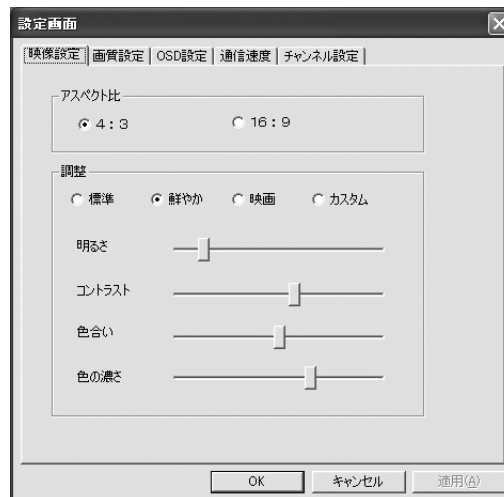


注意

録画中は「画質設定」と「チャンネル設定」は使用できません。

映像設定

「映像設定」の設定パネルでは、LIVE MEDIA TV に表示する映像の画質などについて設定を行います。なお、お使いのパソコンの機種によっては設定できない場合があります。



アスペクト比

映像表示領域の縦横の比率を変更します

アスペクト比	説明
4 : 3 ()	従来のテレビと同じ比率です
16 : 9	一般的なワイドテレビと同じ比率です

印は初期値

調整

画質の調整を行います。プリセット値からの選択による設定と、手動で各種調整を行う設定とが行えます。

【プリセット値選択】

プリセットされている次の3つの設定値から選択できます。いずれかを選択すると「カスタム」で設定した値はプリセット値に戻ります。

- 標準 () : 標準的な画質です。
- 鮮やか : 標準より明るく、鮮やかな画質です。
- 映画 : 標準よりも落ち着いた画質です。

印は初期値

【カスタム設定】

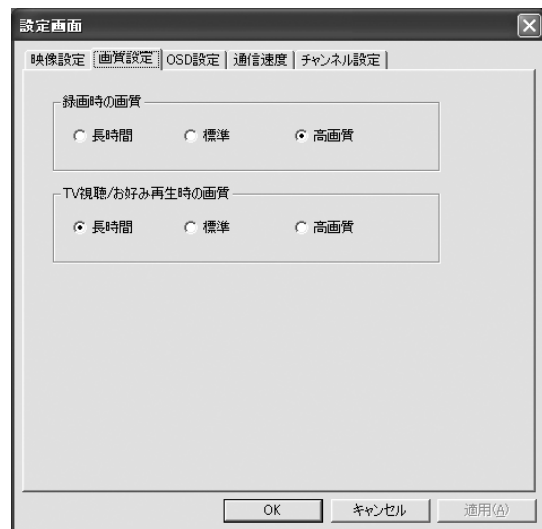
明るさやコントラストを手動で調整して好みの画質に設定するには、以下の操作を行ってください。スライダーをドラッグ後、マウスボタンを離すと変更結果がテレビ画面に反映されますので、画面を見ながら好みの値に調整することができます。

なお、いずれかのスライダーを操作すると、自動的に「カスタム」がオンになります。

- ・明るさ
画像の明るさを調整します。スライダーを左右にドラッグして調整してください。
- ・コントラスト
コントラストを調整します。スライダーを左右にドラッグして調整してください。
- ・色合い
画像の色合いを調整します。スライダーを左右にドラッグして調整してください。
- ・色の濃さ
階調度を調整します。スライダーを左右にドラッグして調整してください。

画質設定

録画する映像や番組視聴時の画質について設定を行います。



録画時の画質

録画の画質を設定します。次のいずれかを選択できます。

- ・長時間(約 2 Mbps) : TransCube のハードディスク使用量が最も少ないモードです。
- ・標準(約 4 Mbps) : 標準的な録画の画質モードです。長時間より高画質な録画モードです。
- ・高画質(約 6 Mbps) : 高画質な録画モードです。ただし、TransCube のハードディスク使用量が多くなります。

印は初期値

ビットレート表示は目安です。正確な値ではありません。

TV視聴 / お好み再生時の画質

テレビ番組視聴時や、お好み再生時の画質を設定します。次のいずれかを選択できます。

- ・長時間(約 2 Mbps) : 録画画質の「長時間」と同じ画質です。
- ・標準(約 4 Mbps) : 録画画質の「標準」と同じ画質です。
- ・高画質(約 6 Mbps) : 録画画質の「高画質」と同じ画質です。

印は初期値

ビットレート表示は目安です。正確な値ではありません。

なお、「通信速度」の設定によって、設定可能な項目が変化します。「通信速度」が「標準」のときは、「長時間」以外は選択できなくなります。

「通信速度」が「高速」の場合



「通信速度」が「標準」の場合



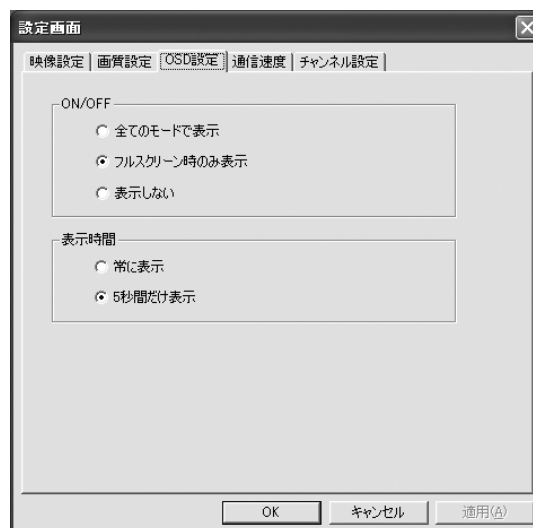
選択できなくなります

参照

通信速度の設定 136 ページ

OSD 設定

OSD(On Screen Display)の表示設定を行います。



ON/OFF

OSD 機能を利用してチャンネルや操作状態の表示を行うかどうかを選択します。次のいずれかを選択できます。

- ・全てのモードで表示 : LIVE MEDIA TV のモードに関係なく、OSD を表示します。
- ・フルスクリーンモード時のみ表示 () : LIVE MEDIA TV がフルスクリーンモードのときだけ OSD を表示します。
- ・表示しない : OSD を表示しません。

表示時間

OSD を表示する時間を設定します。次のいずれかを選択できます。

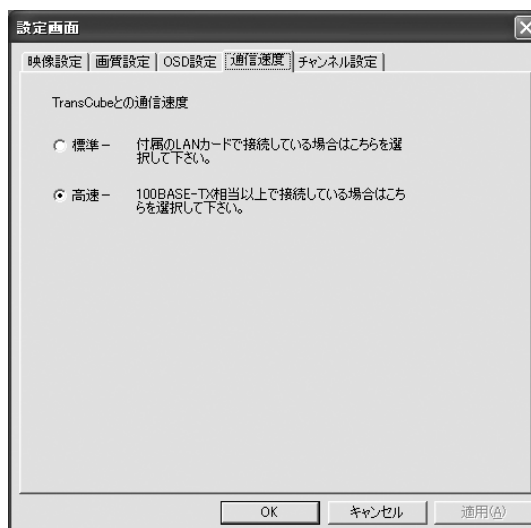
- ・常に表示 ; 常時、OSD を表示します
- ・5 秒間だけ表示 : モードを変更したとき、最初の約 5 秒間だけ OSD を表示します。

通信速度設定

TransCube とパソコンの間の LAN の通信速度を設定します。次のいずれかを選択できます。

- ・標準 () : 無線 LAN、あるいは 100BASE-TX 相当に満たない有線 LAN インタフェースで接続する場合はこちらを選択してください。
- ・高速 : 100BASE-TX 相当以上の有線 LAN インタフェースで接続する場合は、こちらを選択してください。

印は初期値



注意

「高速」を選択する際は、以下の条件をすべて満たしていることを確認してください。これらの条件を満たさないにもかかわらず「高速」を選択した場合、メインパネルに映像が正しく表示されないことがあります。

- ・パソコンの LAN インタフェースが 100BASE-TX 以上。
- ・TransCube と接続する LAN ケーブルがカテゴリ 5 以上。
- ・ハブを利用する場合、ハブの規格が 100BASE-TX 以上。
- ・パソコンに 2 つ以上の LAN インタフェースがある場合、TransCube と接続するときに 100BASE-TX 以上のインタフェースによって接続されている。

チャンネル設定

チャンネルごとの周波数を微調整します。

- ・チャンネル
調整するチャンネルを指定します。
- ・周波数設定
スライダーを左右にドラッグして、周波数を調整します。テレビ画面がいちばんきれいに見える位置を選択してください。
- ・周波数表示
現在の周波数の設定値を表示します。
- ・[標準値に戻す]
商品購入時の値に戻します。



はじめに

操作を始める
前に

テレビ/ビデオの
基本操作

録画予約

録画済みタイトル
などの管理

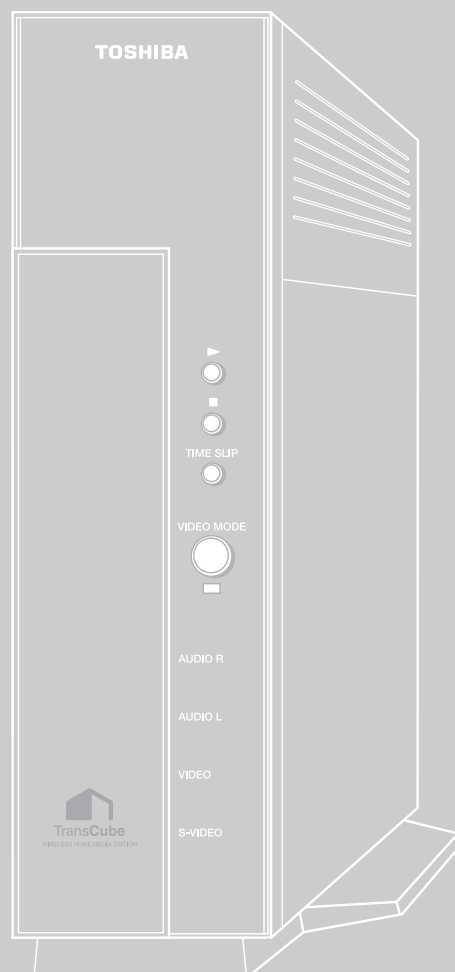
設定メニュー

システム設定
ユーティリティ

付属ソフトウェアの
インストール

システム設定 ユーティリティ (LIVE MEDIA SYSTEM SETTING)

設定ユーティリティの起動と終了	140
テレビを見るための設定 (チャンネル設定)	141
テレビを見るための設定 (TransCube の設定)	147
インターネット接続の設定	152
リモート録画予約設定	154
IP アドレスの再取得	156



設定ユーティリティの起動と終了

TransCube で「TV を見るための設定」「インターネットに接続するための設定」「外出先から録画予約するための設定」「IP アドレスの再取得」の 4 つが行えます。

1 スタートメニューから「システム設定」を選択する

▶ [スタート] [すべてのプログラム] [LIVE MEDIA for TransCube] [システム設定] を選択してください。



2 設定メニューが表示される



3 [終了します] をクリックして、設定メニューを閉じる



テレビを見るための設定(チャンネル設定)

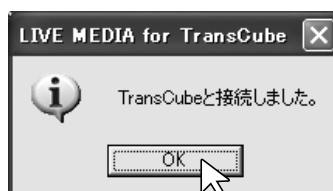
地域選択によるチャンネル設定

ご利用の地域に合わせたテレビチャンネルの設定ができます。

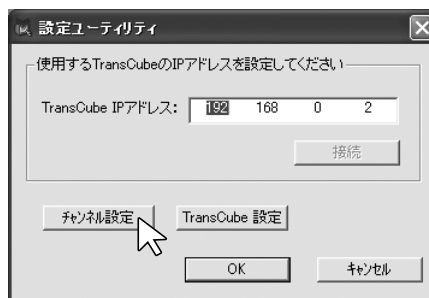
- 1 「システム設定」を起動し、[TVを見るための設定を行います] をクリックする



- 2 [OK] ボタンをクリックする
▶ 「TransCubeと接続しました」というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。



- 3 「設定ユーティリティ」ダイアログボックスが表示されるので、[チャンネル設定] ボタンをクリックする



ワンポイント

[チャンネル設定] ボタンがアクティブでない状態(選択できない場合)は、TransCubeに接続されていません。表示されているTransCubeのIPアドレスが正しいことを確認し、[接続] ボタンをクリックしてTransCubeと接続してください。

ワンポイント

TransCubeの設定がされていない状態で「システム設定」を起動すると、システム設定ウィザードが起動します。ウィザードの詳細は「クイックスタートマニュアル」59ページを参照してください。

はじめに

操作を始める前に

テレビ/ビデオの基本操作

録画予約

録画済みタイトルなどの管理

設定メニュー

システム設定ユーティリティ

付属ソフトウェアのインストール

4

[地域選択] ボタンをクリックする



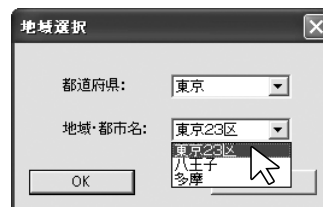
5

[都道府県:] のテキストボックス右にある [] をクリックし、居住している都道府県を選択する



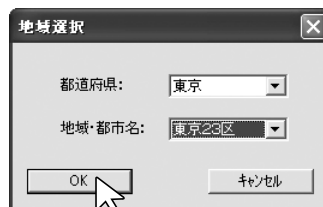
6

[地域・都市名:] のテキストボックス右にある [] をクリックし、居住している地域を選択する



7

[OK] ボタンをクリックする



8

[OK] ボタンをクリックする



注意

お住まいの地域によっては、地域選択によって設定されるチャンネルの内容が適切でない場合があります。その場合、手動によるチャンネル設定を行う必要があります。

参照

手動によるチャンネル設定 143 ページ

TVのバックグラウンドカラーの設定

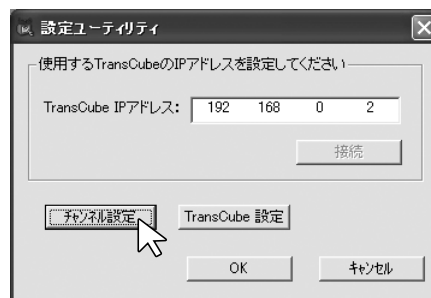
「TVのバックグラウンドカラー」は、テレビや外部入力の手号がTransCubeに入力されていないときに表示される画面の色のことです。色は青と黒の2種類から選択できます。

手動によるチャンネル設定(CATVをご利用の場合など)

地域選択によるチャンネル設定と実際に視聴できるチャンネル設定とが異なる場合は、修正が必要な箇所について、手動でチャンネル設定を行ってください。

また、地域選択によるチャンネル設定では、VHF/UHFの1～62チャンネルだけが設定されています。このため、そのままではCATVに接続してもCATVのチャンネルを選択することはできません。この場合、地域によるチャンネル設定に加えて、手動でのチャンネル設定を行う必要があります。

- 1 「システム設定」を起動して「TVを見るための設定を行います」をクリックし、「チャンネル設定」ボタンをクリックする



- 2 「チャンネル設定」ダイアログボックスが表示されたら、ウィンドウの右にあるスクロールバーや をクリックし、目的の「表示チャンネル」を表示する

- ▶ 「表示チャンネル」はTransCube本体の表示窓やLIVE MEDIA TVのチャンネル切り替え時に表示される番号です。
- ▶ 「チャンネル」は実際のチューニングに使われるチャンネル番号です。
- ▶ 録画予約時には、チャンネルは「表示チャンネル」の番号で指定します。



- 3 表示チャンネルの先頭にあるチェックボックス()をクリックし、チェックマークを入れる

- ▶ チェックマークが入っていないチャンネルは、リモコンやLIVE MEDIA TVでのチャンネル切り替え時に表示されず、選択もできません。

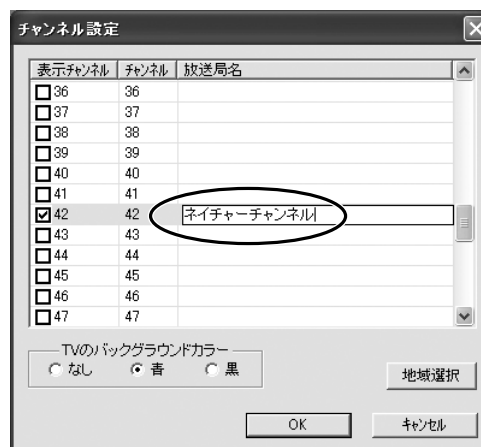


注意

63チャンネル以上がCATVのチャンネルです。CATVの13が63チャンネルとなります。

4

放送局名の欄をクリックして、局名を入力する



注意

iEPG 予約やiモードによるリモート予約は、チャンネル番号ではなく、放送局名によって行われます。iEPG 予約時、予約しようとした放送局名と一致するものが TransCube に設定されている放送局名の中に存在しない場合は、そのチャンネルは予約できません(「録画予約」ダイアログボックスは、自動的に先頭のチャンネルが選択された状態となります)。特に理由のない限り、地域選択によって自動設定された放送局名は変えないでください。

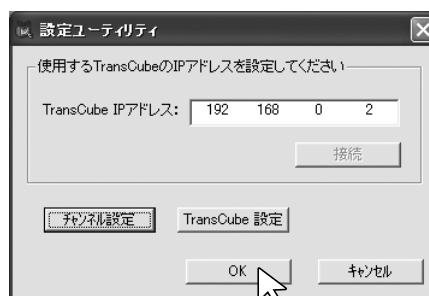
iEPG 予約やiモードによるリモート予約に使われる放送局名の一覧は、「クイックスタートマニュアル」154 ページをご覧ください。

5

[OK] ボタンをクリックする

6

[OK] ボタンをクリックする



7

[閉じる] ボタンをクリックして設定メニューを閉じる

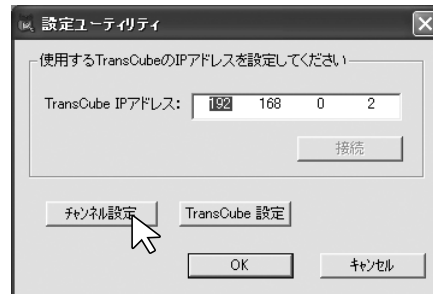
▶ LIVE MEDIA TVを起動してチャンネル変更のメニューを表示すると、設定したチャンネルを選択することができます。



空いているチャンネルに別のチャンネルを設定する

空いているチャンネル設定欄に、別のチャンネルを設定することもできます。

- 1 「システム設定」を起動して [TVを見るための設定を行います] をクリックし、[チャンネル設定] ボタンをクリックする



- 2 空いている表示チャンネルの先頭にあるチェックボックス()をクリックし、チェックマークを入れる



- 3 「チャンネル」の欄をクリックすると [] マークが表示される

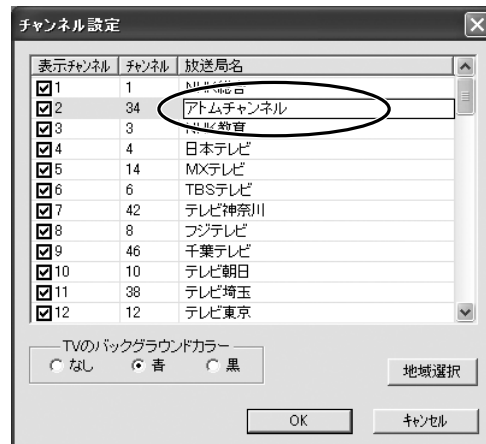


- 4 をクリックしてチャンネルリストを表示し、表示チャンネルに割り当てたいチャンネルを選択する



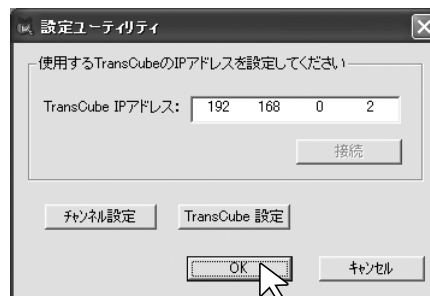
5 「放送局名」の欄をクリックして、局名を入力する

▶ 「クイックスタートマニュアル」154ページの「地域番号と放送局一覧表」に記載されている放送局名を設定すると、iEPG 予約やリモート予約で使うことができます。



6 [OK] ボタンをクリックする

7 [OK] ボタンをクリックする



8 [閉じる] ボタンをクリックして設定メニューを閉じる

テレビを見るための設定(TransCubeの設定)

ここでは、TransCubeの日時の設定やTVの縦横比、TransCubeのファームウェアのバージョンアップ、HDDのフォーマットなどが実行できます。

時刻の設定

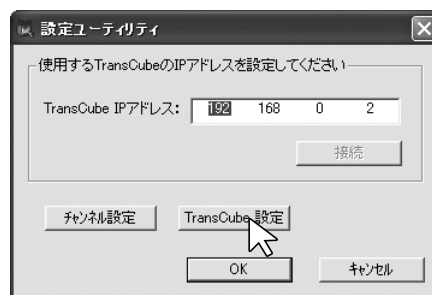
- 1 「システム設定」を起動し、[TVを見るための設定を行います]をクリックする



- 2 [OK] ボタンをクリックする
▶ 「TransCubeと接続しました」というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。



- 3 「設定ユーティリティ」ダイアログボックスが表示されるので、[TransCube設定] ボタンをクリックする



ワンポイント

[TransCube 設定] ボタンがアクティブでない状態(選択できない場合)は、TransCube に接続されていません。[接続] ボタンをクリックしてTransCube と接続してください。

はじめに

操作を始める前に

テレビ/ビデオの基本操作

録画予約

録画済みタイトルなどの管理

設定メニュー

システム設定ユーティリティ

付属ソフトウェアのインストール

4 「日付」の をクリックすると、カレンダーが表示される

▶ 表示されたカレンダーから、録画を行いたい日付を選択します。なお、今日の日付には赤いマークが付いています。

- ・月を変更する場合は、◀か▶をクリックしてカレンダー表示を変更してください。



5 時間表示の部分をクリックして選択状態にし、 をクリックして現在の時刻を設定する

- ▶ 時刻表示右の [] をクリックすると、時間が進みます。
- ▶ 時刻表示右の [] をクリックすると、時間が戻ります。
- ▶ キーボードから数字を入力することもできます。



6 時刻合わせの方法を選択する

▶ 「時刻合わせ」では、現在の時刻設定を自動的に行う方法を選択します。「ジャストクロック」にした場合、「NHK教育」を利用してください。ほかの放送局を指定したときは時刻を正しく合わせられないことがあります。

- ・ジャストクロック：
時報音を利用して時刻を合わせることができます。
- ・NTPサーバ：
インターネットで時刻を合わせるためのサーバに「NTPサーバ」というものがあります。これを利用して時刻設定をする場合は、「NTPサーバ」にNTPでの時刻合わせをサービスしているサーバの名前を入力します。



注意

次のような場合にはジャストクロック機能は正しく動きません。

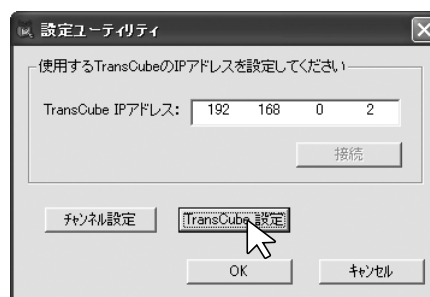
- ・ TransCube の設定時刻が正しい時刻から 3 分以上ずれている場合。
- ・ 時報の背景に音楽などが流れている場合。
- ・ 標準的な時報音でない場合。
- ・ 時報のときにビデオモードあるいは予約録画中の場合。

注意

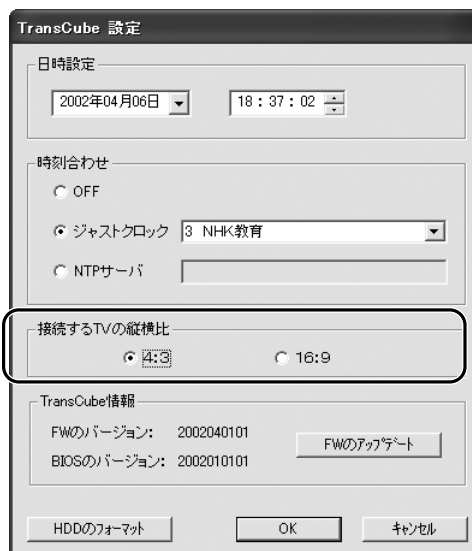
- ・ 「NTP サーバ」を指定した場合、NTP サーバに接続できないときは時刻を修正できません。

テレビの縦横比の設定

- 1 「システム設定」を起動して [TV を見るための設定を行います] をクリックし、[TransCube 設定] ボタンをクリックする



- 2 接続するテレビの縦横比を選択する
▶ 「接続するTVの縦横比」では、画面の比率を選択します。ワイドテレビの場合は「16 : 9」を選択してください。それ以外のテレビでは「4 : 3」を選択してください。

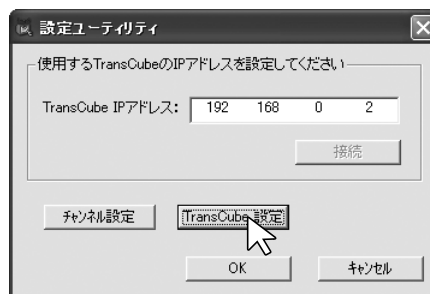


- 3 [OK] ボタンをクリックする

本体ファームウェアのアップデート

TransCube 本体に組み込まれているソフトウェアをバージョンアップすることができます。

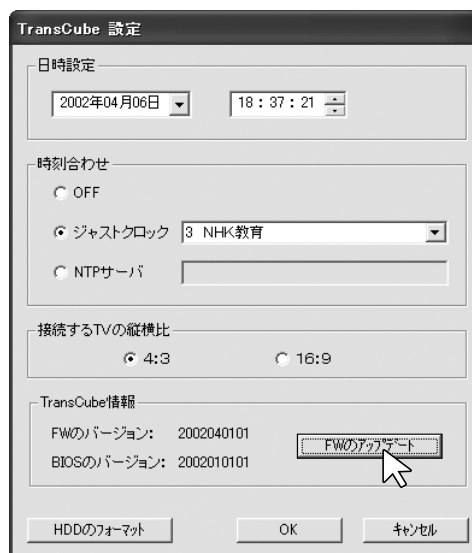
- 1 「システム設定」を起動して [TVを見るための設定を行います] をクリックし、[TransCube設定] ボタンをクリックする



- 2 [FWのアップデート] ボタンをクリックする

▶ バージョンアップ用のデータが公開され、ダウンロードできるようになっている場合は、下記のWebサイトでお知らせします。

<http://dynabook.com/>



- 3 アップデート用データファイルを選択して [開く] ボタンをクリックする

▶ ダウンロードしたデータファイルが保存されているフォルダを開き、ファイルを選択します。

- 4 アップデートが開始される

▶ アップデートが終了すると、自動的に再起動されます。

注意

アップデートが終了し、自動的に再起動され、再起動が完了するまでは、本体の電源スイッチをOFFにしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。アップデートに失敗し、本体が起動できなくなるおそれがあります。

ワンポイント

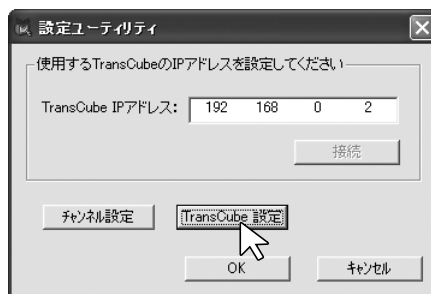
万一本体が起動できなくなったときは、次の手順で本体内蔵のROMから起動し、再度アップデートを行ってください。

- (1) 本体の電源をOFFにし、表示窓の表示が消えたことを確認する。
- (2) 本体の「スキップ - 」ボタン(◀◀)を押しながら、本体の電源をONにする。

ハードディスクのフォーマット

TransCube に搭載されているハードディスクをフォーマット(初期化)します。

- 1 「システム設定」を起動して [TVを見るための設定を行います] をクリックし、[TransCube設定] ボタンをクリックする



- 2 [HDDのフォーマット] ボタンをクリックする



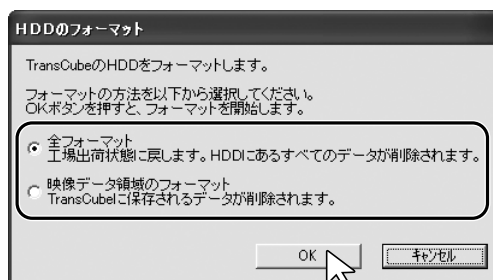
- 3 フォーマット方法を選択し、[OK] ボタンをクリックする

・全フォーマット：

ハードディスク内にある映像データ、各種設定を保存してあるファイルなどが削除され、サンプル映像以外は商品購入時の状態に戻ります。サンプル映像は付属のCD-ROMに収められています。

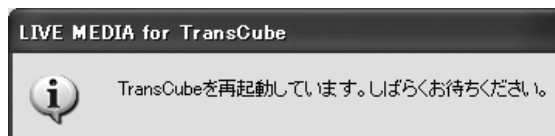
・映像データ領域のフォーマット：

TransCube に保存されている録画データがすべて削除されます。



- 4 TransCube が自動的に再起動する

▶ ハードディスクのフォーマットが終了すると、TransCube が自動的に再起動します。



注意

フォーマットを行うと、ハードディスクのデータは失われます。操作する前に、削除してはいけないデータがないか、必ず確認してください。お客様がハードディスクに登録されたデータは、ナビパネルの「録画予約」画面の録画予約データ一覧、および「アルバム」画面の録画済みタイトル一覧で確認できます。

はじめに

操作を始める前に

テレビ/ビデオの基本操作

録画予約

録画済みタイトルなどの管理

設定メニュー

システム設定ユーティリティ

付属ソフトウェアのインストール

インターネット接続の設定

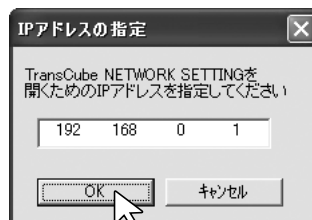
インターネットに接続するための設定を行います。設定の詳細は「本体リファレンスマニュアル」の「ルータの設定」(72 ページ)をご覧ください。

- 1 「システム設定」を起動し、[インターネットに接続するための設定を行います] をクリックする



- 2 TransCubeのルータ機能のIPアドレスを入力して [OK] ボタンをクリックする

▶ ルータ機能のIPアドレスは、初期値では「192.168.0.1」に設定されています。



- 3 「ユーザー名」と「パスワード」を入力する

▶ 「ユーザー名」を入力したら、パスワードの入力欄をマウスでクリックするか、キーボードの [Tab] キーを押して、入力用のカーソルを入力欄に移動させます。



ワンポイント

初期設定では、「ユーザー名」と「パスワード」が次のように設定されています。

ユーザー名：admin

パスワード：password

なお、「ユーザー名」と「パスワード」は変更したほうが安全です。下記を参照して、独自のものを設定することをお勧めします。

参照

「ハードウェアマニュアル」機器管理設定 104 ページ

- 4 [OK] ボタンをクリックする

5

Web ブラウザが起動し、設定画面が表示される



参照 ルータの設定 本体リファレンスマニュアル・72 ページ

はじめに

操作を始める
前に

テレビ/ビデオの
基本操作

録画予約

録画済みタイトル
などの管理

設定メニュー

システム設定
ユーティリティ

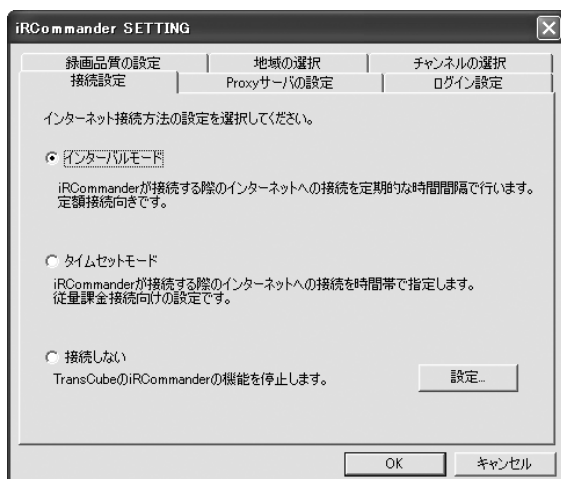
付属ソフトウェアの
インストール

リモート録画予約設定

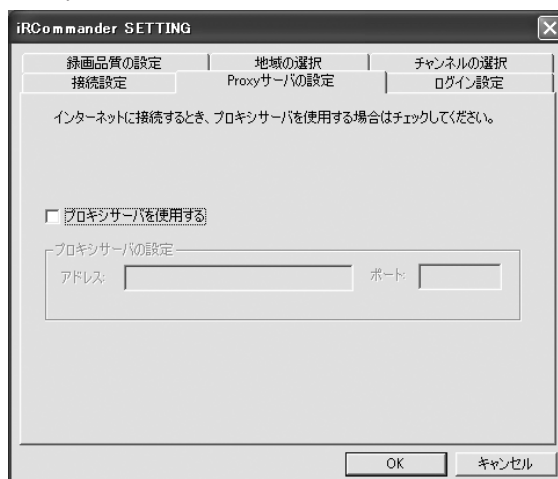
iCommand によるリモート予約設定のための設定を行います。「システム設定」メニューの「外出先から録画予約するための設定を行います」をクリックすると、設定用のダイアログボックスが開きます。

なお、設定メニューはダイアログボックスの形式で表示されますが、設定内容は 80 ページ以降で説明した「リモート予約録画のための設定」ウィザードと同じです。詳細は下記のページをご覧ください。

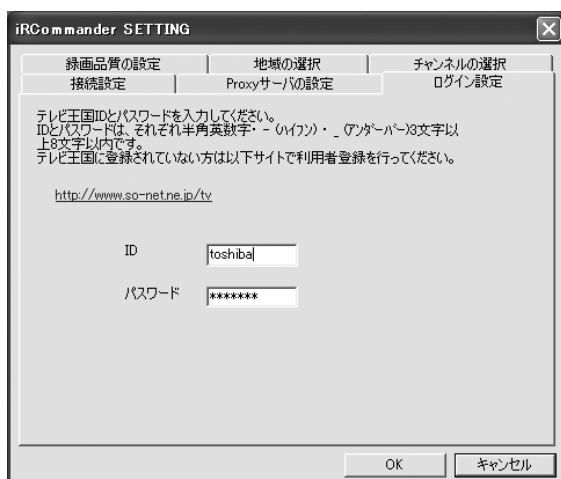
接続設定 81 ページ



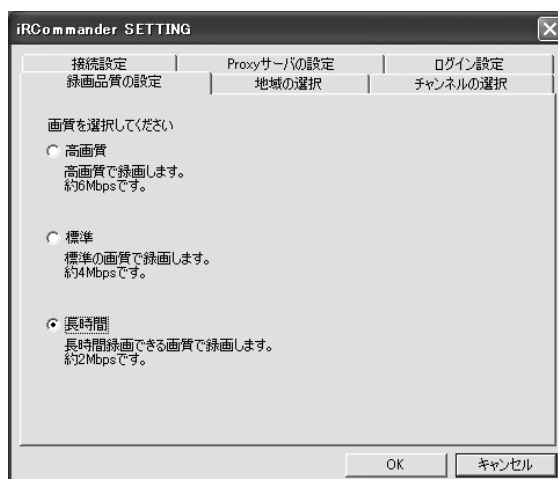
Proxy サーバの設定 81 ページ



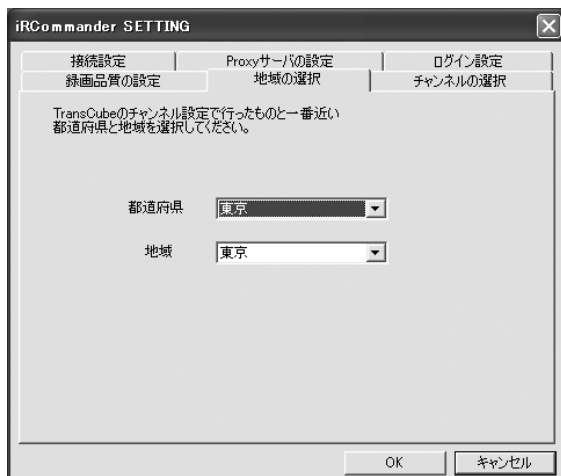
ログイン設定 82 ページ



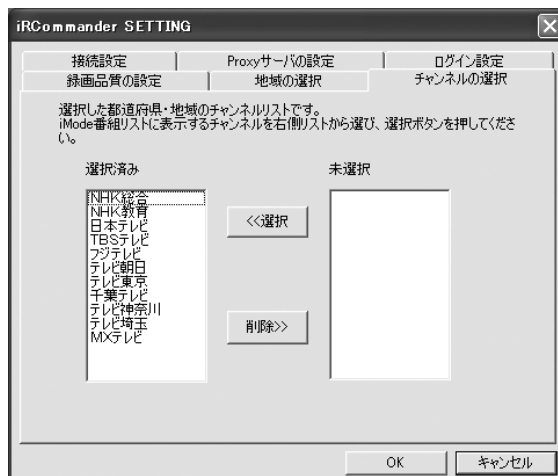
録画画質の設定 82 ページ



地域を選択 82 ページ



チャンネルの選択 83 ページ



ワンポイント

リモート録画予約設定を変更した場合は、[OK] ボタンを押して、設定をテレビ王国へ登録してください。

はじめに

操作を始める
前に

テレビ/ビデオの
基本操作

録画予約

録画済みタイトル
などの管理

設定メニュー

システム設定
ユーティリティ

付属ソフトウェアの
インストール

IP アドレスの再取得

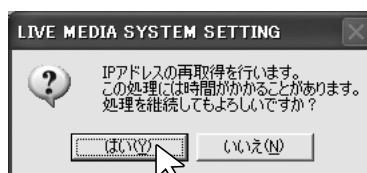
TransCube の DHCP サーバから、パソコンの LAN インタフェースに割り当てられる IP アドレスを再取得します。

- 1 システム設定」を起動し、[IP アドレスを再取得します] をクリックする



- 2 処理を継続してよいか尋ねるダイアログボックスが表示される

- ▶ [はい] をクリックすると処理を継続します。
- ▶ [いいえ] をクリックすると処理を中断します。
- ▶ IP アドレスの再取得には数分かかる場合があります。



- 3 IP アドレスの再取得が行われる

- ▶ 再取得中はマウスカーソルが砂時計の表示になります。

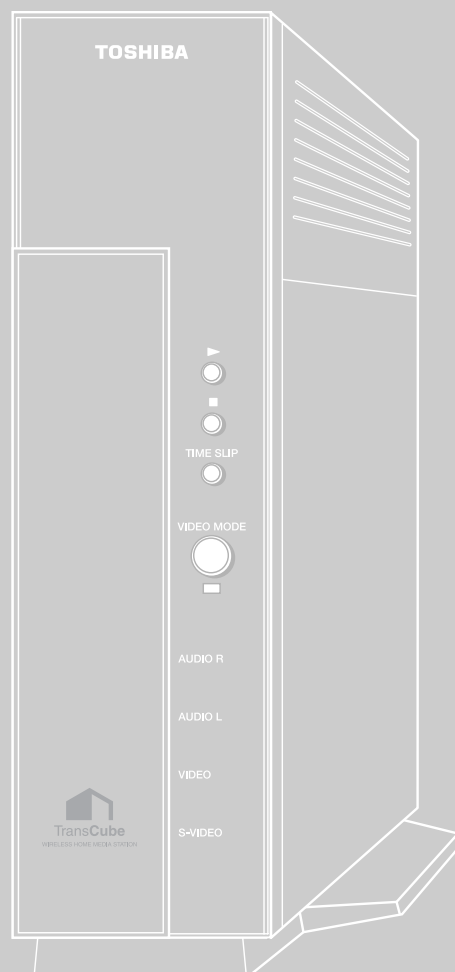
- 4 再取得終了のダイアログボックスが表示される

- ▶ 再取得が終了するとメッセージが表示されます。



付属ソフトウェアのインストール

インストーラ画面の内容	158
LIVE MEDIA for TransCube を Windows Me にインストールする	160
その他のアプリケーションのインストール	163
インストールしたアプリケーションを削除する	167



インストーラ画面の内容

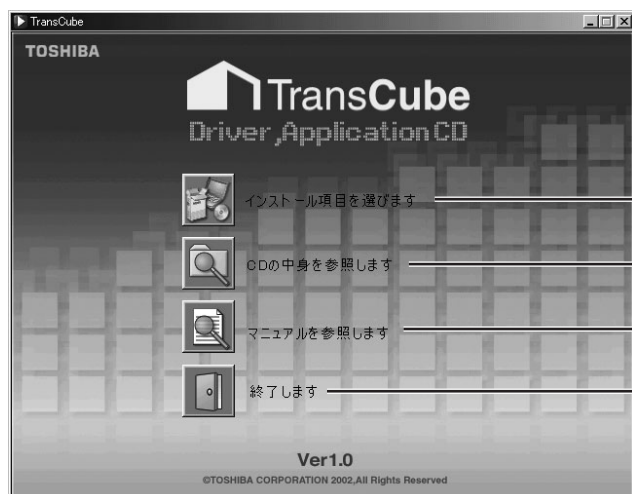
本製品付属のCD-ROMをパソコンに挿入すると、インストーラが起動して次のような「TransCube Driver, Application CD」画面が表示されます。なお、画面はWindows Meの場合のものですが、Windows XPでも、ウィンドウのタイトルバーのデザインを除いて同じ画面が表示されます。

これから行う作業を選択する

1 パソコンを起動し、本機に付属の「TransCube Driver, Application CD」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

▶ ここでは、CD-Rドライブ、CD-RWドライブ、DVD/CD-RWドライブなど、CD-ROMを読むことのできるドライブを総称して「CD-ROMドライブ」と呼びます。

2 インストールプログラムが自動的に起動し、インストーラ画面が表示される



- インストールするアプリケーションを選択する
(クリックするとインストールメニューが表示されます)
- CD-ROMの内容を見る
- PDF形式のマニュアルを表示する (Acrobat Reader 5.0をインストールしておく必要があります 166ページ参照)
- インストールプログラムを終了する

ワンポイント

使用しているパソコンの環境によっては、CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしただけでは「TransCube Driver, Application CD」画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

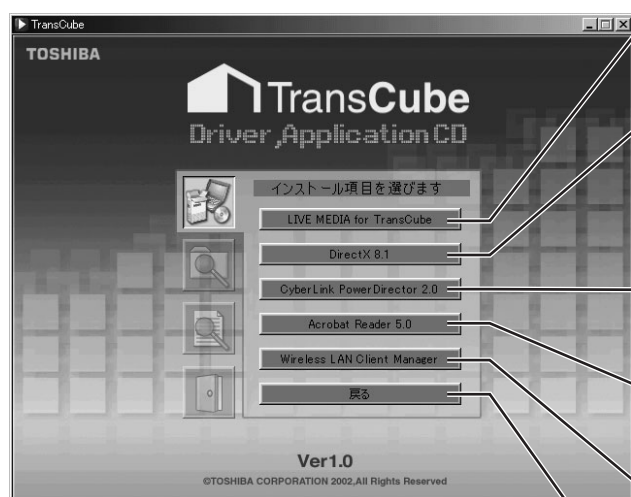
ダブルクリックしても「TransCube Driver, Application CD」画面が表示されないときは、CD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「開く」を選択して、表示されたアイコン一覧の中から、右図のアイコンをダブルクリックします (ご使用の環境によって表示が異なります)。



TrnsCube

インストール項目を選択する

付属のCD-ROM からインストールできるアプリケーションを選び、インストールします。



「LIVE MEDIA for TransCube」をインストールする

TransCubeにパソコンから接続し、テレビ視聴などを行うアプリケーションです。

「DirectX 8.1」をインストールする

LIVE MEDIA for TransCube、およびCyberLink PowerDirector 2.0を利用するために必要なプログラムです。Windows Meを利用する場合は、LIVE MEDIA for TransCube、CyberLink PowerDirector 2.0をインストールする前にインストールしてください。

Windows XPのときは選択できません。

「CyberLink PowerDirector 2.0」をインストールする

動画データをパソコンで編集するためのビデオ編集ソフトです。TransCubeで録画したデータをパソコンにコピーして編集することができます。

「Acrobat Reader 5.0」をインストールする

PDF形式のファイルを開くためのプログラムです。CD-ROMに収録されているPDF形式のマニュアルを読む際に必要です。

「ワイヤレスLANユーティリティ」をインストールする

Windows MeでTransCubeに付属の無線LANカードを利用する場合は、これをインストールしてください。

Windows XPのときは選択できません。

「戻る」

インストーラ画面に戻ります。

注意

OSをアップグレードした場合は、LIVE MEDIA for TransCubeを一度アンインストールし、再度インストールする必要があります。

ワンポイント

Windows XPへのLIVE MEDIA for TransCubeのインストールについては、「クイックスタートマニュアル」の36ページをご覧ください。

ワンポイント

ワイヤレスLANユーティリティのインストール方法は、「本体リファレンスマニュアル」63ページを参照してください。

はじめに

操作を始める前に

テレビ/ビデオの基本操作

録画予約

録画済みタイトルなどの管理

設定メニュー

システム設定
ユーティリティ

付属ソフトウェアのインストール

LIVE MEDIA for TransCube を Windows Me にインストールする

Windows Me への LIVE MEDIA for TransCube のインストールは、次の手順で行います。

「DirectX 8.1」のインストール

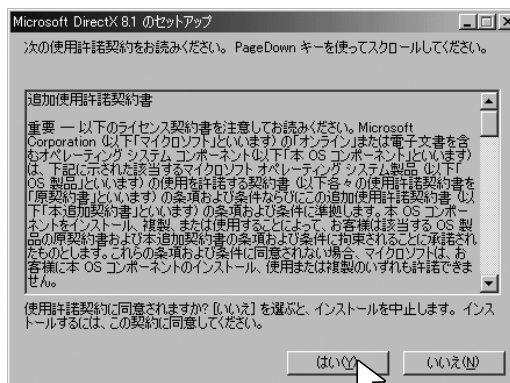
まず、DirectX 8.1 をインストールします。

- 1 インストールメニューを表示し、
「DirectX 8.1」をクリックする

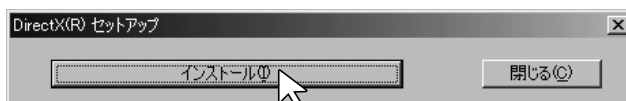


- 2 ソフトウェアの使用許諾契約に関する条項
が表示されるので内容をよく読み、同意で
きる場合は [はい] ボタンをクリックする

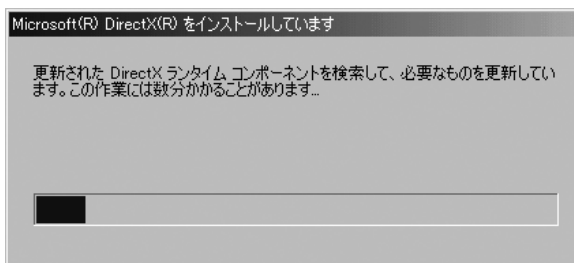
- ▶ 右にある ボタンをクリックするかスライダ
ーをドラッグして、内容を確認してください。
- ▶ [はい] ボタンをクリックするとインストール
が中止されます。



- 3 [インストール] ボタンをクリックする



- 4 インストールが開始される



5

[OK] ボタンをクリックする。

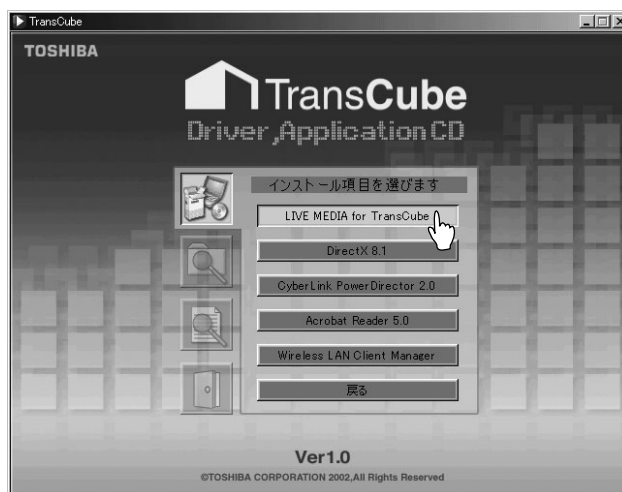
▶ [OK] ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じた後、パソコンを再起動してください。



LIVE MEDIA for TransCube のインストール

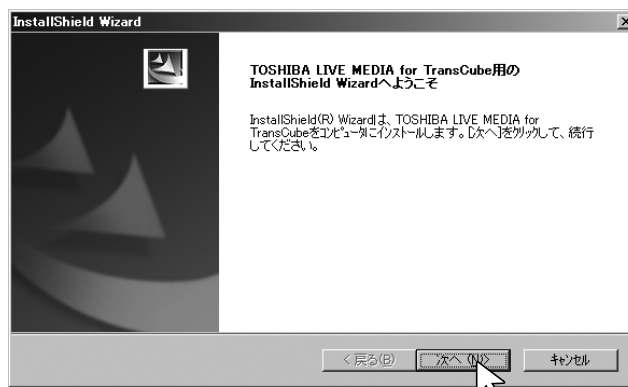
1

インストールメニューを表示し、「LIVE MEDIA for TransCube」をクリックする



2

インストールプログラムが起動するので、[次へ] ボタンをクリックする

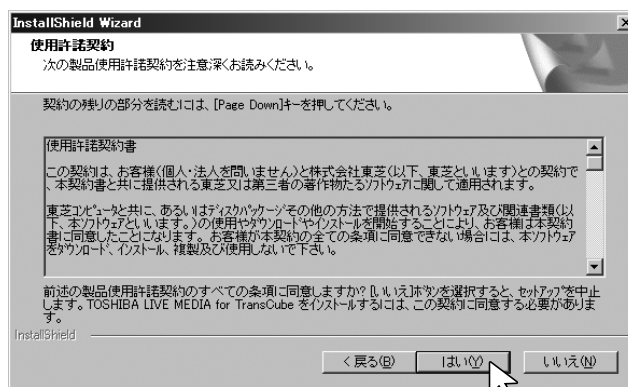


3

ソフトウェアの使用許諾契約に関する条項が表示されるので内容をよく読み、同意できる場合は [はい] ボタンをクリックする

▶ 右にある [はい] ボタンをクリックするかスライダーをドラッグして、内容を確認してください。

▶ [いいえ] ボタンをクリックするとインストールが中止されます。



はじめに

操作を始める前に

テレビ/ビデオの基本操作

録画予約

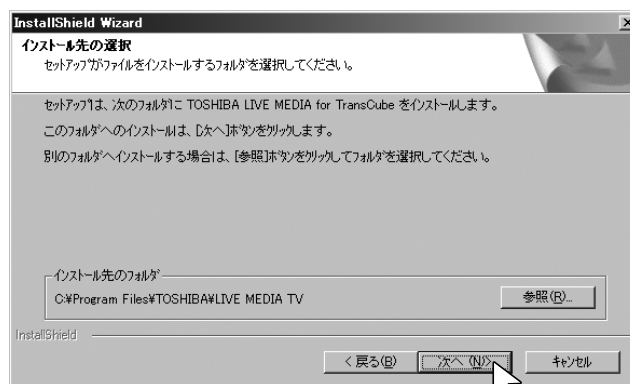
録画済みタイトルなどの管理

設定メニュー

システム設定
ユーティリティ

付属ソフトウェアのインストール

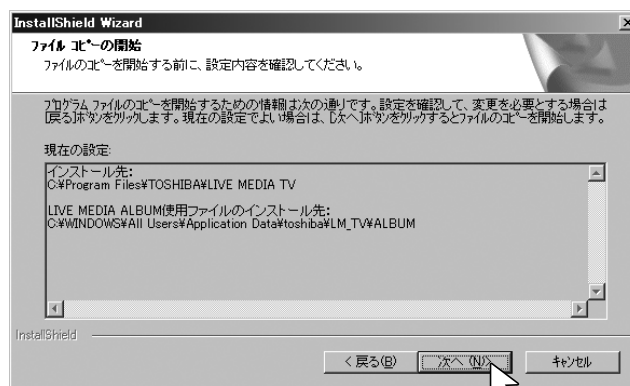
- 4 インストール先を決定する。「インストール先のフォルダ」を確認し、そのフォルダでよければ [次へ] ボタンをクリックする



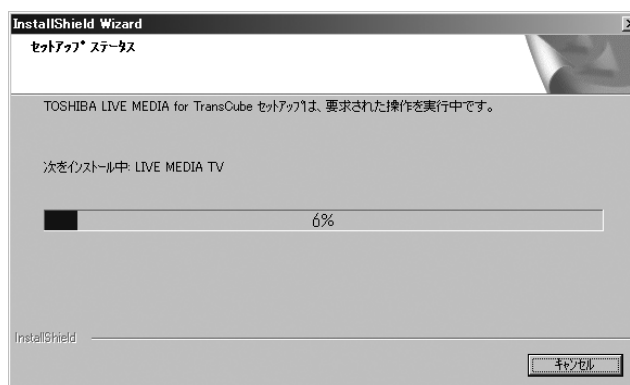
ワンポイント

何も指定しないで [次へ] をクリックした場合、[Program Files] フォルダの [TOSHIBA] フォルダの中に [LIVE MEDIA TV] フォルダを作成してインストールします。ほかのフォルダにインストールしたい場合は、[参照] ボタンをクリックしてフォルダを選択してから [次へ] ボタンをクリックしてください。

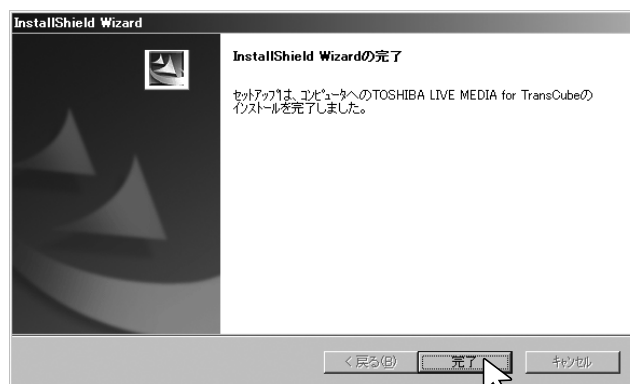
- 5 ファイルコピーを開始するメッセージが表示されるので、[次へ] ボタンをクリックする



- 6 インストールが開始される



- 7 インストールが終了すると、次のダイアログボックスが表示されるので、[完了] ボタンをクリックする

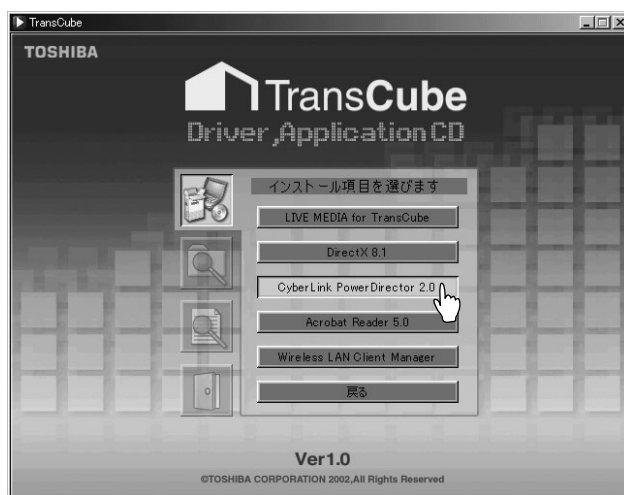


- 8 インストールメニューに戻るので、「戻る」をクリックし、「TransCube Driver, Application CD」画面で「終了」をクリックする

その他のアプリケーションのインストール

「CyberLink PowerDirector 2.0」のインストール

- 1 インストールメニューを表示し、「CyberLink PowerDirector 2.0」をクリックする

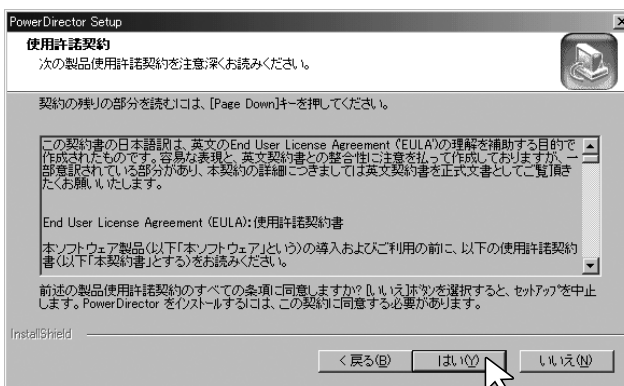


- 2 インストーラが起動するので、[次へ] ボタンをクリックする



- 3 ソフトウェアの使用許諾契約に関する条項が表示されるので内容をよく読み、同意できる場合は [はい] ボタンをクリックする

- ▶ 右にある ボタンをクリックするかスライダーをドラッグして、内容を確認してください。
- ▶ [いいえ] ボタンをクリックするとインストールが中止されます。



はじめに

操作を始める
前に

テレビ/ビデオの
基本操作

録画予約

録画済みタイトル
などの管理

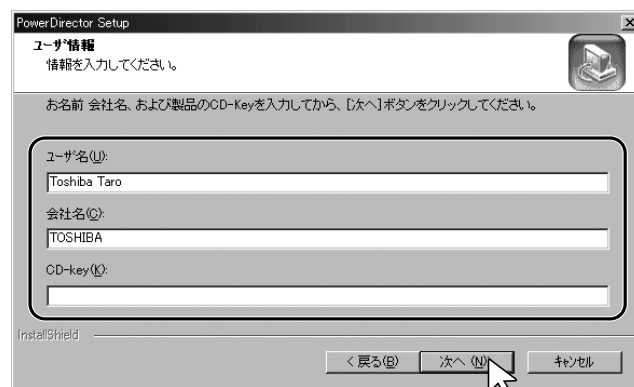
設定メニュー

システム設定
ユーティリティ

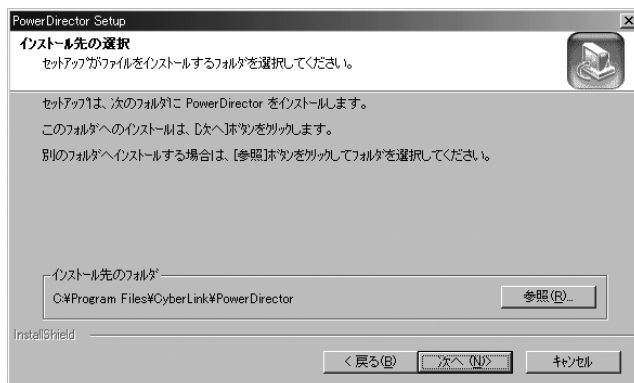
付属ソフトウェアの
インストール

4 「ユーザ名」「会社名」「CD-key」を入力し、[次へ] ボタンをクリックする

- ▶ ユーザー名は必ず入力してください。
- ▶ CD-key は、同梱のシールに記載されている 16 桁の英数字を入力してください。



5 インストール先を決定する。「インストール先のフォルダ」を確認し、そのフォルダでよければ [次へ] ボタンをクリックする

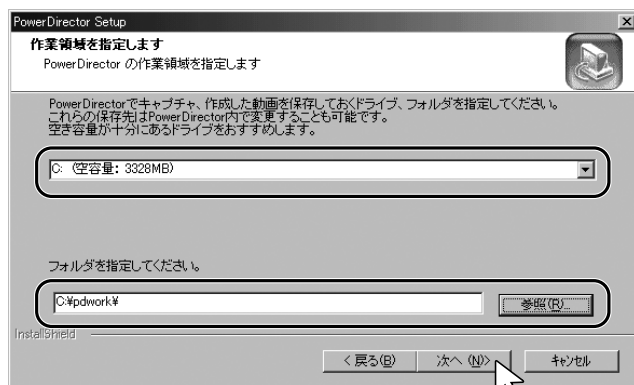


ワンポイント

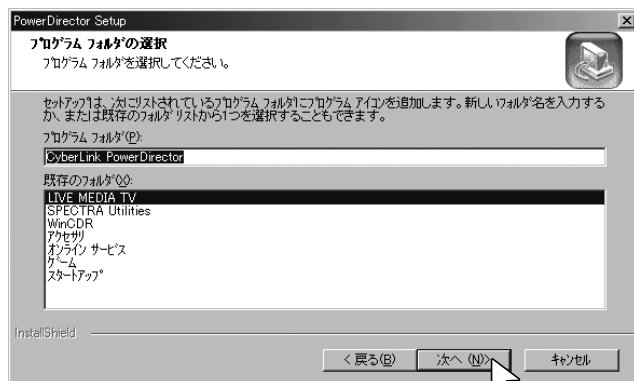
デフォルトのインストール先は [Program Files] フォルダの中に新しいフォルダ [CyberLink] を作成し、その中に [PowerDirector] フォルダを設定します。ほかのフォルダにインストールしたい場合は、[参照] ボタンをクリックしてフォルダを選択してから [次へ] ボタンをクリックしてください。

6 作業領域を指定する

- ▶ 作業領域にはビデオ編集作業のデータが展開されますので、なるべく空き容量の多いハードディスク領域を指定してください。
- ▶ 「フォルダ」には適当なフォルダを指定してください。必要があれば、「temp」といった名前のフォルダを事前に作成しておくといでしょう。



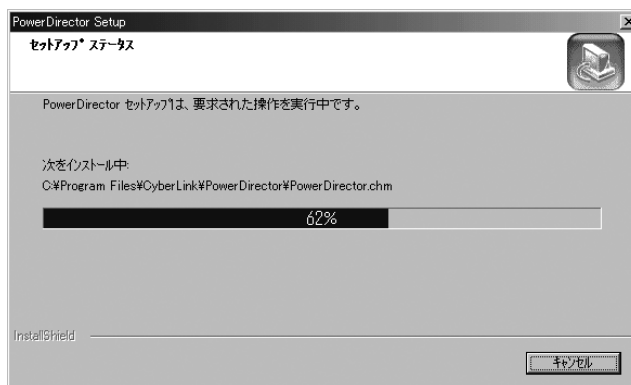
7 「プログラムフォルダの選択」画面が表示されるので、[次へ] ボタンをクリックする



8 ファイルコピーを開始するメッセージが表示されるので、[次へ] ボタンをクリックする

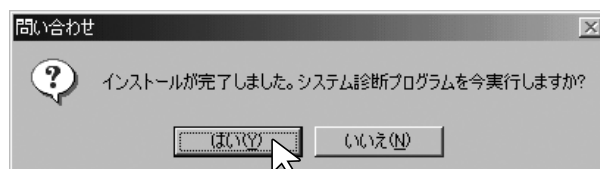


9 インストールが開始される



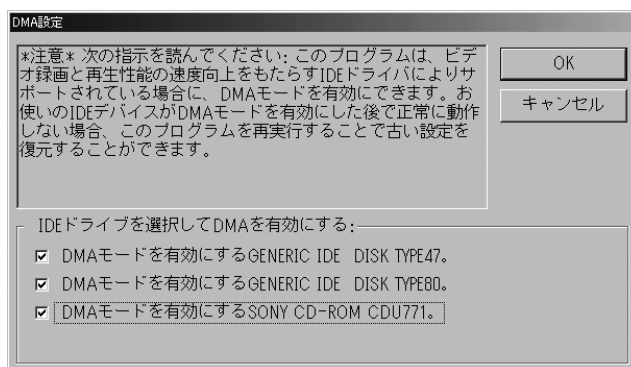
Windows XPをお使いの場合は、これでインストール手順は終了です。
Windows Meをお使いの場合は、手順10へお進みください。

10 インストールが完了すると、システム診断プログラム実行のメッセージが表示されるので、[はい] ボタンをクリックする



11 DMA転送の設定画面が表示されるので、DMA転送を有効にしたいドライブにチェックマークを入れて[OK] ボタンをクリックする。

▶ 詳しい設定内容等は、付属CD-ROMに収録されている「CyberLink PowerDirector 2.0」のPDFマニュアルを参照してください。



はじめに

操作を始める前に

テレビ/ビデオの基本操作

録画予約

録画済みタイトルなどの管理

設定メニュー

システム設定
ユーティリティ

付属ソフトウェアのインストール

12 [完了] ボタンをクリックする

▶ このあと、「CyberLink PowerDirector 2.0」のユーザー登録を行ってください。インターネットに接続していれば、自動的にCyberLinkのWebサイトに接続されます。

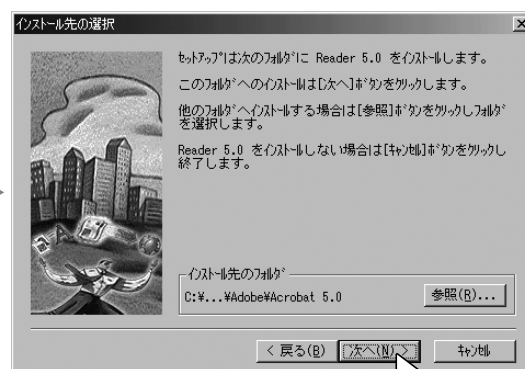
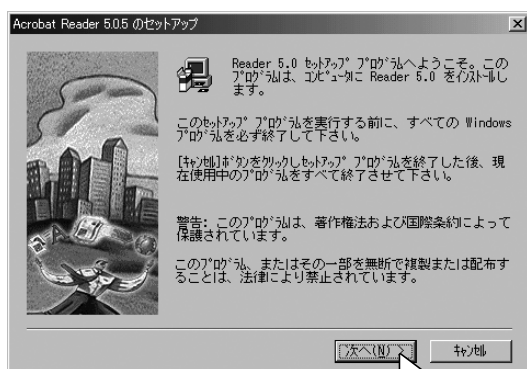


「Acrobat Reader 5.0」のインストール

1 インストールメニューを表示し、「Acrobat Reader 5.0」をクリックする

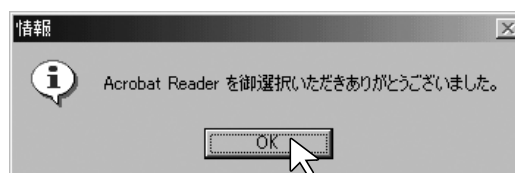


2 セットアップウィザードが起動するので、[次へ] ボタンをクリックして画面の指示に従う



3 [OK] ボタンをクリックする

▶ インストールが終了すると右のメッセージが表示されるので、[OK] ボタンをクリックしてください。

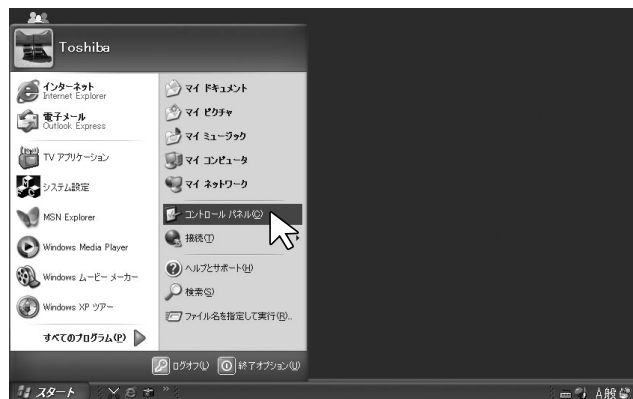


インストールしたアプリケーションを削除する

Windows XP での LIVE MEDIA for TransCube のアンインストール

Windows XP にインストールした LIVE MEDIA for TransCube が不要になり、削除する場合の操作手順です。

- 1 スタートメニューから「コントロールパネル」を選択する



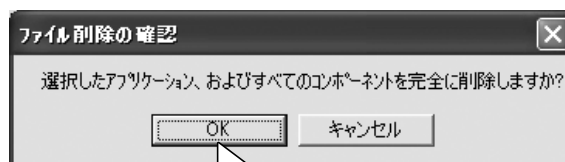
- 2 「作業する分野を選びます」から、「プログラムの追加と削除」を選択する



- 3 「現在インストールされているプログラム」の一覧から、「TOSHIBA LIVE MEDIA TV」を選択し、[変更と削除] ボタンをクリックする



- 4 削除が完了すると次のメッセージが表示されるので、[OK] ボタンをクリックする



はじめに

操作を始める前に

テレビ/ビデオの基本操作

録画予約

録画済みタイトルなどの管理

設定メニュー

システム設定
ユーティリティ

付属ソフトウェアのインストール

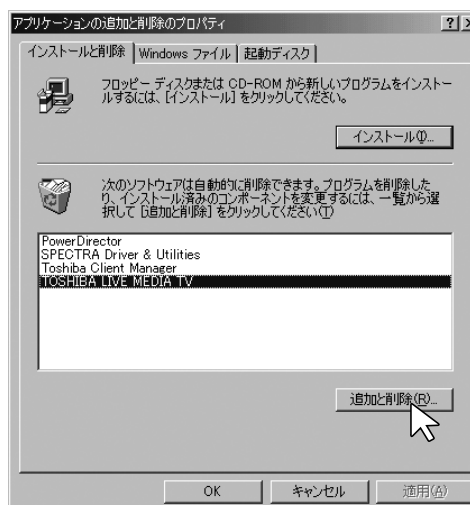
Windows Me での LIVE MEDIA for TransCube のアンインストール

Windows Me にインストールしたアプリケーションは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」を使って削除します。ここでは、例として LIVE MEDIA for TransCube を削除する操作を行ってみます。

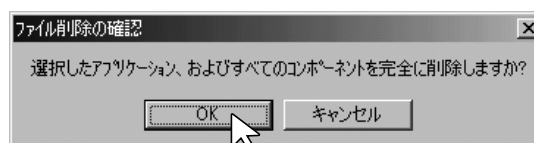
- 1 [スタート] [設定] [コントロールパネル] を選択してウィンドウを開き、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする



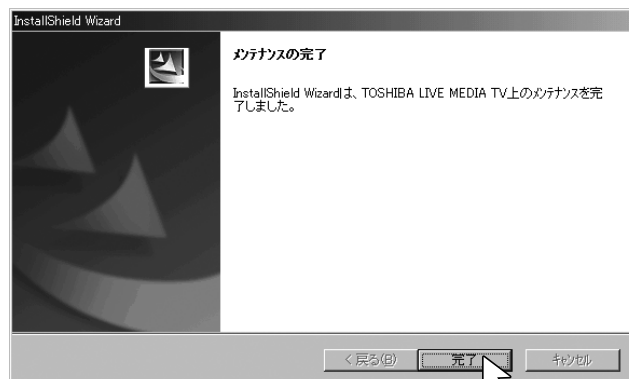
- 2 削除したいプログラムを選択し、[追加と削除] ボタンをクリックする



- 3 [OK] ボタンをクリックする



- 4 [完了] ボタンをクリックする
▶ 再起動を要求された場合は、表示されたメッセージに従って操作してください。



注意

LIVE MEDIA for TransCube に関しては、インストール後に再度インストールを実行すると、確認を求めた後でいったんパソコンから削除されます。この機能を利用して、インストール後に再度インストールを実行することで削除することもできます(付属CD 内のほかのアプリケーションのインストーラにはこの機能はありません)。

はじめに

操作を始める
前に

テレビ/ビデオの
基本操作

録画予約

録画済みタイトル
などの管理

設定メニュー

システム設定
ユーティリティ

付属ソフトウェアの
インストール

商標について

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。

テレビ王国は、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社が運営するテレビ番組情報サービスです。

iCommand および iRCommander は、ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標または商標です。

So-net、ソネットはソニー株式会社の商標です。

iモード、アイモードは株式会社NTT ドコモの登録商標です。

Microsoft、Windows、DirectX は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

PowerDirector は、CyberLink Corporation の商標です。

Intel、Celeron、Pentium は、Intel Corporation の商標または登録商標です。

ハードウェアの保証とアフターサービスについて

本製品についての技術的なご質問、お問い合わせは

「東芝PCダイヤル」

☎ 0570-00-3100

(ナビダイヤル：全国共通電話番号)

受付時間 9:00～19:00

[祝日、12/31～1/3を除く]

海外からのTEL、携帯電話等で、上記電話番号に接続できないお客様・NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、☎ 043-298-8780 で受け付けております。

セットアップ(設定作業)のご依頼は

「トランスキューブセットアップセンター」

本製品に同梱の「トランスキューブセットアップ申込書」

に必要な事項を記入の上、FAX 03-3833-2381 または

TEL 03-5818-7170 にお申し込みください。

受付時間 9:00～17:30

[日曜日、祝日、12/31～1/3を除く]

*東芝ノートパソコンをお持ちのお客様に限り、ご購入時のセットアップにつきましては、「無料」にて出張サポートいたします。
*詳細につきましては、本製品に同梱の「トランスキューブセットアップ規約」を必ずご覧ください

本製品の修理サービスは

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合は

「東芝家電修理ご相談センター」



フリーダイヤル トーシバ ヨイ
0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用はできません。

受付時間 24時間365日

PowerDirector 2.0 については

CyberLink PowerDirector 2.0 に関するお問い合わせは

「サイバーリンク株式会社」

☎ 03-3662-8076

受付時間 10:00～13:00、14:00～17:00

[土日祝祭日、年末年始を除く]

Fax 03-3662-8009

Web Support <http://support.cli.co.jp>

修理形態

無料修理(保証修理)

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障した時に、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします。(詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください。)

有料修理

「保証書」に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業(詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください)については、有料修理をいたします。

部品について

部品の交換

保守部品(補修用性能部品)は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品(再利用部品)を使用し、故障した部品と交換します。尚、有料修理でユニット修理を適用した場合及び無料修理の交換元(取り外した)部品の所有権は、株式会社東芝または株式会社東芝の認める各保守会社に帰属します。

保守部品(補修用性能部品)の最低保有期間

保守部品(補修用性能部品)とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。
本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から6年6カ月です。

LIVE MEDIA for TransCube リファレンスマニュアル

平成14年5月10日 A1版発行 MPW1064A

©2002 Toshiba Corporation

無断複製および転載を禁ず

株式会社 **東芝**

デジタルメディアネットワーク社 PC事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦1丁目1番1号